

学校教育目標

よく考えて実行する杉本小の子
健康でたくましい杉本小の子
思いやりのある杉本小の子



海老名市立杉本小学校



学 校 便 り

令和7年6月13日

校長 奥泉 憲

居は氣 を移す

今回は、『居は氣を移す』という言葉について考えてみます。「居」は住む場所や環境を表しています。学校生活のなかで子どもたちにとっては校庭や教室です。「氣」は人の心を、そして、「移す」とは、変わるということを意味しています。つまり、学校全体や各教室の環境によって、子どもたちの心が変わってくるといことです。

この言葉を紹介したかった理由は2つあります。1つめは、先日、教室を見回っていた際に、各階の渡り廊下にある各学年の子どもたちの絵の具セット、習字セットなどがちゃんと整頓して置いてあることに気が付いたからです。クラスから少し離れている渡り廊下の学習用具がしっかりと整頓されているということは、子どもたち一人ひとりが整頓することを意識しているからだと思います。そんな子どもたちの心がけが素敵だと感じました。2つめです。先週の土曜日にちょっと用事があって学校に来ました。そのときに校舎の中を回ってみると、机がきれいに並んでいるクラスがたくさんありました。そんな教室を見ていると、そこにはいないはずの先生や子どもたちが、一所懸命に勉強をしている姿が見えてくるようでした。

『居は氣を移す』、人の心はその環境によって大きく変わります。それぞれが、気持ちのよい学校生活を過ごせるように、一人ひとりが出来ることを考えてみてほしいです。

【 6年生 社会科見学 】

6月3日（火）に6年生の皆さんと一緒に国会見学に行ってきました。国会議事堂内の見学では、廊下や壁などの歴史を感じさせる荘厳なつくりには圧倒されているようでした。実際の議場の傍聴席にも入らせてもらいました。貴重な体験だったと思います。今回の見学を通して、子どもたちの社会科への興味関心が高まるいいと思いました。昼食をとった後は、科学技術館へ。子どもたちは、グループ活動で1時間ほど施設内の見学を楽しんでいました。見学全体を通して私が感心したことは、国会での担当者の説明をしっかりと聞いていたこと。そして、科学技術館でのグループ活動では、集合時間などをしっかりと守って行動していたこと。今回の経験を是非、修学旅行につなげてほしいです。



衆議院議員 後藤祐一さんのお話
(議員会館内にて)